

# 1 研究の概要

## (1) 本課題別研究の主旨及び目的

重複障害のある児童生徒の教育的ニーズは、単一障害のある人の教育的ニーズの単なる集合ではない。重複障害者一人一人の性格や意欲などの個人因子、重複障害者を取り巻く家庭や地域・学校の人的及び物的な環境因子による特定の個人と環境との相互作用により、その重複障害の状況に固有の活動の制約や参加の制限があり、その結果として多様な生活上学習上の障害状況を生み出す。

現行の学習指導要領においては、重複障害者の特例に基づいて各学校が個別の指導計画の作成を行い柔軟な指導ができるようになっているが、実際の教育現場では、限られた指導時間の中で何を優先課題とするか、いかなる短期及び長期的指導目標を設定するか、いかなる教材を使って指導するか、指導の系統性や段階性がみえない困難さに直面している。

本研究所では、従来個々の重複障害者の事例研究を主としたアプローチがなされてきたが、個々の事例研究からさらに事例を鳥瞰する研究手法の開発を模索し、指導領域の設定並びに領域間の相互関係を整理し、重複障害教育における教育課程のガイドライン並びに指導内容・方法を体系化することが急務の課題であると考えます。

本研究は、盲・聾・養護学校に在籍する重複障害のある児童生徒について、研究協力機関と連携し、授業研究を通して現場の教師と共同して重複障害のある児童生徒の教育課程の構築のための基本方針を作成することを目的とする。

## (2) 研究全体の概要

研究者がカリキュラムを開発し、それを学校現場で実践してもらおうという、研究優位のプログラム開発よりも、現場に研究者が入って重複障害のある児童生徒を担当する教師と授業研究を行い、そこで得られた知見をもとにして指導の内容を共

同開発しながら教育課程を構築する方向を目指したい。

具体的な研究内容は、次のとおりである。

- 1 重複障害のある児童生徒の教育課程の在り方の検討
  - (1) 「重複障害」、「重度・重複障害」等の用語の整理
  - (2) 学習指導要領における「重複障害者の特例」の検討
  - (3) 教育課程の考え方（教科カリキュラムと経験カリキュラム）
  - (4) 教育課程の具体的な構成
  - (5) 教育課程に関する国内外の研究について資料収集・翻訳
- 2 重複障害のある児童生徒の授業研究
  - (1) 重複障害のある児童生徒の教科・道徳・特別活動
  - (2) 重複障害のある児童生徒の自立活動
  - (3) 重複障害のある児童生徒の総合的な学習の時間
- 3 盲聾の児童生徒の教育課程と支援
- 4 重複障害のある児童生徒の教育課程の構築のための基本方針の作成

## (3) 期待する成果

全国の盲・聾・養護学校に在籍する全児童生徒のうち重複障害のある児童生徒が3～4割を占め、また重複障害教育について経験や専門性が浅い教員が担当する場合がきわめて多い現状にあって、重複障害のある児童生徒のための教育課程の考え方及び具体的な指導の内容の指針を試案という形で共有することができる。また、個々の実践事例から新たに得られた知見を加え指針を更新していく作業が実現し、重複障害のある児童生徒を担当する教員が指導実践の中でさらに得られた知見を積み上げていく基盤を与える研究となることが期待される。

#### (4) 研究実施経過

平成16年度

- 5月～12月 資料収集及び検討
- 5月～12月 各研究協力機関における重複障害のある児童生徒の授業研究の実施
- 11月 研究協議会開催
- 平成17年1月～2月 授業研究で得られた知見の整理及びまとめの作業

平成17年度

- 5月～11月 各研究協力機関における授業研究の実施及び資料収集・整理
- 7月 合衆国における重複障害教育の教育課程についての講演会開催
- 8月 研究協議会（会場：北海道拓北養護学校、テーマ：総合的な学習の時間）
- 5～10月 海外の資料の翻訳
- 11月 研究協議会開催
- 12月 課題別研究報告会
- 平成18年1月～2月 まとめの作業・原稿執筆
- 3月 報告書印刷

#### (5) 研究体制

- 石川 政孝 研究総括  
重複障害のある児童生徒の教育課程全般及びその授業研究
- 後上 鐵夫  
重複障害のある児童生徒の教科・道徳・特別活動及びその授業研究
- 中澤 恵江  
盲ろうの児童生徒の教育課程及び授業研究
- 菅井 裕行

視覚障害を主とする重複障害のある児童生徒の自立活動及びその授業研究（平成16年度）

大崎 博史

重複障害のある児童生徒の総合的な学習の時間及びその授業研究

當島 茂登

肢体不自由を主とする重複障害のある児童生徒の自立活動及びその授業研究

オブザーバーとして、下山直人氏（文部科学省特別支援教育課特殊教育調査官）、島治伸氏（文部科学省特別支援教育課特殊教育調査官）に協力を依頼する。

#### (6) 研究協力機関及び研究協力者

研究協力機関

- 北海道拓北養護学校
- 宮城県立盲学校
- 栃木県立盲学校（平成16年度）
- 神奈川県立横浜南養護学校
- 横須賀市立養護学校
- 横浜市立東俣野養護学校
- 兵庫県立赤穂養護学校（平成16年度）
- 篠山市立篠山養護学校
- 徳島県立聾学校
- 佐賀県立北部養護学校

研究協力者（敬称略）

- 古川 勝也 長崎県立諫早養護学校長（前文部科学省特別支援教育課特殊教育教科調査官）
- 吉武 清実 東北大学教授
- 飯野 順子 前筑波大学教授
- 皆川 春雄 筑波大学附属盲学校長
- 山田規美江 北海道真駒内養護学校長
- 猪狩恵美子 福岡教育大学教授